

(注)「コモロ連合月報」は、新聞報道等をまとめたものであり、当館として事実関係を確認したものではありません。記事中にコモロ政府の公式見解と異なる内容が含まれる場合もあるため、予めご留意願いたします。なお、各記事冒頭の日付は、報道された日付となっています。

コモロ連合月報（2025年10月）

《要点》

【内政】

●2日 Al Watwan 紙によると、商業組合 Synaco と運輸組合 Usukani wa Masiwa によるストライキは、同日夕方、内務省での政府との協議を経て終結した。政府は Usukani の4つの要求、①軽微な違反による車両押収の是正、②過重な罰金の猶予、③逮捕された組合員2名の解放、④右ハンドル車の規制緩和（6か月の猶予付き）を受け入れた。一方、Synaco が問題視していた「三つの税」については、財務・予算・銀行部門省が「過去の法的誤りを正すための改革」と説明し、対象商品の軽減措置を検討するための技術委員会を設置することとなった。

【外政】

●1日 Al Watwan 紙によると、中国建国76周年の式典が9月29日モロニで開催され、政府要人や外交団が出席した。中国大使は、1949年以降の急速な発展に触れ、2023年のGDPが126兆元を超え世界第2位となったと述べ、「一带一路」などを通じ共通の未来を築く決意を示した。外交関係50周年を迎えた両国は、尊重と連帯を基盤に戦略的パートナーシップを一層強化することを確認した。

●1日 Al Watwan 紙によると、モンテリオールで開催された国際民間航空機関（ICAO）総会にて、コモロの航空気象庁（ANACM）はシンガポールとサウジアラビアの航空当局と協定を締結し、国際航空ネットワークへの統合と地域的拠点化に向けた重要な一步を踏み出した。また、同庁は、2019年のICAO監査に基づく是正措置の63%を達成したと報告し、安全性や環境面での進展を強調した。

●8日 Al Watwan 紙によると、ナイロビで開かれた第24回 COMESA（東南部アフリカ市場）首脳会議で、コモロ連合のアザリ大統領は、地域の「デジタル主権」確立を訴え、誰もが利用できる安全で信頼性の高い接続の整備、現地イノベーションと若者支援、農業・エネルギー・商業・保健・教育などのデジタル化を優先課題として掲げた。大統領は「コモロ・デジタル戦略2028」に基づく国内の進展として、4G拡大や5G導入、モバイル決済と金融包摂、スタートアップ支援、オンライン教育の強化などを報告。さらに、発展の基盤には平和と安定が不可欠であり、サイバーセキュリティを平和戦略の一環と位置づけるべきだと述べ、コンゴ民主共和国やスーダン、リビア、エチオピア、エリトリアの紛争にも言及した。

●9日 La Gazette 紙によると、ロシアは9日から15日まで、ロシアとアラブ諸国による初の首脳会議を開催する。アザリ大統領も15日に参加する予定で、これを機にモスクワとの関係を強調し、ロシアのモロニにおける外交拠点設置構想も再び浮上している。会議では経済協力の拡大、特にエネルギー分野での連携が議題となり、ロシアが持つ技術や投資が、コモロの再生を後押しする可能性がある。

●14日 Al Watwan 紙によると、8日、モロニで中国・フランス両大使が会談し、コモロとの協力の展望を協議した。中コモロ関係の進展や三国間協力の可能性が議題となり、中国大使は両国首脳の指導下での成果と「コモロ新興計画2030」への支援を強調。フランス大使は教育・司法・財政分野での関与を確認し、中国との連携強化による持続的発展への意欲を示した。

●17日 La Gazette 紙によると、ワシントンで開催された国際通貨基金（IMF）と世界銀行の年次総会において、財務・予算・銀行部門大臣は、経済協力強化と新たな投資

誘致を目的に複数の二国間会談を行った。同大臣は、政府高官を伴い、サウジ開発基金（FSD）やアラブ経済社会開発基金（FADES）の幹部らと会談した。会談では、進行中のプロジェクトのフォローアップに加え、インフラ、エネルギー、教育などコモロの優先分野におけるプロジェクト実施の加速が主要な議題となった。

●20日 Al Watwan 紙によると、大阪・関西万博 2025 でコモロ館を率いたモハメド・ウセイン氏は、参加が国際的知名度と経済外交の向上につながったと評価した。来場者は 135 万人を超え、観光・文化・経済の潜在力が注目を集めた。JETRO や JICA との協力も進み、バニラやイランイランといった特産品分野での投資機会が拡大。伝統遊戯「ムラハ」や大学間交流も話題となり、今後は日本との連携を深め持続可能な発展を目指す方針。

【経済】

●1日 Al Watwan 紙によると、9月29日、世界銀行の資金援助（8億4,350万コモロ・フラン）により整備されたウジオ〜ウッサオ〜パンデ間の農村道路が開通。同道路は、農業生産地へのアクセス向上と食料安全保障の強化を目的とし、FSRP-KM（食料システム強靱化プロジェクト）の一環として建設されたもの。開通式には、議員や農民代表、関係者が出席し、本インフラの意義を強調したほか、輸送手段の整備や灌漑・保冷設備の必要性にも言及。政府は、今後、近代的農業機材の導入や生産者の組織化を進め、若者の農業参入を促す方針を示した。

●23日 La Gazette 紙によると、財務・予算・銀行部門大臣はワシントンでのミッションから帰国し、IMF 拡大信用プログラム第5回レビュー開始に向け大きな進展があったと報告した。2026年予算案のマクロ経済枠組みも協議中という。さらに、世界銀行やアフリカ開発銀行などの国際機関と協議し、雇用創出、人材育成、民間セクター発展、インフラ整備といった優先課題への資金確保を目指した。加えて、イスラム開発銀行との間で公務員制度近代化のための600万ドル融資契約を締結したことが、今回の主要成果となった。

●28日 Al Watwan 紙によると、アザリ大統領は27日、モロニで「海上回廊整備・地域貿易円滑化プロジェクト」の始動を宣言した。総額2億1800万ユーロ規模の本事業は、アフリカ開発銀行など複数の国際機関が出資し、農水産物輸出の物流改善を通じて雇用創出や市場アクセス、食料安全保障の強化を目指すもの。大統領はこれを「国の経済・政治史における重要な一歩」と位置づけ、インド洋地域での地位向上、女性支援、気候変動対策の推進、さらにアフリカ連合の「アジェンダ2063」と大陸自由貿易圏への貢献を強調した。

●31日 Al Watwan 紙によると、財務省と商業組合（Synaco）は、公共と民間の協働を強化する協定を締結した。本協定により、輸送費に対し5%の控除を関税計算に適用し、従来の引き上げ分を平均22%削減、さらに生活必需品24品目の価格を5%引き下げることが決定された。対象にはタイルや家具、冷蔵庫などが含まれ、今後さらに拡大予定。財務・予算・銀行部門大臣は「対話の成果」と述べ、商業活動の円滑化と国民の購買力維持を強調した。

【社会】

●16日 Al Watwan 紙によると、15日、教育省とコモロ大学教職員組合（SNEUC）は、数週間続いたストを終結させる合意に署名した。合意には、給与支払いと学術運営の安定を確保する恒久的予算の創設、未承認教員の正式採用、2025年末までの高等教育法第50条の2適用が含まれる。契約教員の審査委員会や履行監督委員会も設置され、行動計画を示すロードマップが策定される。

●17日 Al Watwan 紙によると、政府が10月3日から金曜礼拝を午後1時に統一する決定を下したことを受け、伝統と労働時間の調整を巡り議論が起きている。ムフティ団（イスラム法学者団）は、措置がシャリーア（イスラム法）に適合すると確認しつつ、信徒間の団結維持を強調。正午礼拝を行う地域における対立回避のため、統一時刻の再考を大統領に求める方針で一致した。

1 内政

1日 Al Watwan 紙によると、商業組合 Synaco と運輸組合 Usukani wa Masiwa が無期限のストライキを開始したが、他の経済団体や一部の支部は対話継続を重視し不参加を表明。政府との協議は進展しており、港湾整備やコスト削減も進行中。ストライキはモロニで続く一方、アンジュアン島では中止となった。Synaco は要求が受け入れられない限り撤回しない姿勢を示している。

<https://alwatwan.net/societe/appele-une-gr%C3%A8ve-i-les-organisations-professionnelles-divisees-sur-la-d%C3%A9marche.html>

2日 Al Watwan 紙によると、商業組合 Synaco と運輸組合 Usukani wa Masiwa によるストライキは、同日夕方、内務省での政府との協議を経て終結した。政府は Usukani の4つの要求、①軽微な違反による車両押収の是正、②過重な罰金の猶予、③逮捕された組合員2名の解放、④右ハンドル車の規制緩和（6か月の猶予付き）を受け入れた。一方、Synaco が問題視していた「三つの税」については、財務・予算・銀行部門省が「過去の法的誤りを正すための改革」と説明し、対象商品の軽減措置を検討するための技術委員会を設置することとなった。

<https://alwatwan.net/societe/gr%C3%A8ve-du-synaco-et-de-l%E2%80%99usukani-wa-masiwa-i-un-accord-obtenu-hier-au-minist%C3%A8re-de-l%E2%80%99int%C3%A9rieur.html>

7日 Al Watwan 紙によると、1日のストライキ後、政府とコモロ商業組合 Synaco は税制を巡る対立解消に向けた協議を開始し、72時間以内に技術委員会が結論を出す予定となった。問題となっているのは消費税、物品税、前払い所得税の3種で、商人側は計算方法の見直しを求めているが、現在も税は維持されたまま。政府は今回の税制が本来適用されるべきものであると主張しており、今後の協議で市民や商業活動への影響が評価される。

<https://alwatwan.net/societe/gouvernement-synaco-i-apr%C3%A8s-la-gr%C3%A8ve,-place-aux-discussions-entre-techniciens-et-syndicalistes.html>

7日 Al Watwan 紙によると、アザリ大統領は、隣村同士の衝突で死傷者が出たガンズアレ村を訪れ、犠牲者遺族への弔意を示すとともに、平和の維持と再発防止を訴えた。この衝突では軍人を含む2名が死亡し、多数が負傷した。大統領は「同じ土地、同じ血を分かち合う村同士が争ってはならない」と強調し、地域の安定の重要性を訴えた。

<https://alwatwan.net/societe/ngandzale-salamani-i-azali-assoumani-dans-la-zone-pour-pr%C3%A9senter-ses-conditions-anciens-et-proposer-la-paix.html>

20日 Al Watwan 紙によると、行政の近代化を目指す「e-Administration」プロジェクトが16日に正式に始動した。EUの資金援助を受け、Expertise France が実施するこの取り組みは、老朽化した体制や情報不足といった行政の課題に対応し、透明性と効率性を高める狙いがある。政府は、オンライン窓口や行政手続きのデジタル化、機関間の情報共有体制の整備、データ保護の法整備などを含む大規模改革として位置づけている。関係者は「市民に仕える現代的で信頼される行政」を目指すことを強調した。

<https://alwatwan.net/societe/modernisation-de-l%E2%80%99administration-publique-i-lancement-officiel-du-projet-e-administration.html>

2 外政

1 日 Al Watwan 紙によると、中国建国 76 周年の式典が 9 月 29 日モロニで開催され、政府要人や外交団が出席した。中国大使は、1949 年以降の急速な発展に触れ、2023 年の GDP が 126 兆元を超え世界第 2 位となったと述べ、「一带一路」などを通じ共通の未来を築く決意を示した。外交関係 50 周年を迎えた両国は、尊重と連帯を基盤に戦略的パートナーシップを一層強化することを確認した。

<https://alwatwan.net/politique/76e-anniversaire-de-la-r%C3%A9publique-populaire-de-chine-i-p%C3%A9kin-et-moroni-r%C3%A9affirment-leur-partenariat-strat%C3%A9gique.html>

1 日 Al Watwan 紙によると、モントリオールで開催された国際民間航空機関 (ICAO) 総会にて、コモロの航空気象庁 (ANACM) はシンガポールとサウジアラビアの航空当局と協定を締結し、国際航空ネットワークへの統合と地域的拠点化に向けた重要な一步を踏み出した。また、同庁は、2019 年の ICAO 監査に基づく是正措置の 63% を達成したと報告し、安全性や環境面での進展を強調した。

<https://alwatwan.net/politique/coop%C3%A9ration-a%C3%A9ronautique-i-les-comores-signent-deux-accords-majeurs-%C3%A0-montr%C3%A9al.html>

3 日 Al Watwan 紙によると、シャボン仏大使は、財務・予算・銀行部門大臣と会談した。両者はフランス・コモロ開発計画 (PDFC) の進捗を確認し、教育、保健、財政、司法など多岐にわたる分野での支援強化を再確認した。

<https://alwatwan.net/politique/comores-france-i-etienne-chapon-poursuit-ses-rencontres-avec-les-officiels.html>

7 日 Al Watwan 紙によると、11 日の大阪・関西万博「SDGs の日」を前に、コモロ館は文化発信・経済連携・持続可能性の三本柱で準備を進めるが、資金不足が課題となっている。8 月のナショナルデーに続き、環境保護や伝統技術、女性の自立、海洋資源をテーマにしたファッションショーが予定され、「自然への敬意」と「包摂的成長における女性の役割」が強調される。

<https://alwatwan.net/culture/cl%C3%B4ture-de-l'E2%80%99expo-universelle-osaka-kansai-et-semaine-des-odd-i-les-comores,-entre-ambitions-et-contraintes.html>

8 日 Al Watwan 紙によると、ナイロビで開かれた第 24 回 COMESA (東南部アフリカ市場) 首脳会議で、コモロ連合のアザリ大統領は、地域の「デジタル主権」確立を訴え、誰もが利用できる安全で信頼性の高い接続の整備、現地イノベーションと若者支援、農業・エネルギー・商業・保健・教育などのデジタル化を優先課題として掲げた。大統領は「コモロ・デジタル戦略 2028」に基づく国内の進展として、4G 拡大や 5G 導入、モバイル決済と金融包摂、スタートアップ支援、オンライン教育の強化などを報告。さらに、発展の基盤には平和と安定が不可欠であり、サイバーセキュリティを平和戦略の一環と位置づけるべきだと述べ、コンゴ民主共和国やスーダン、リビア、エチオピア、エリトリアの紛争にも言及した。

<https://alwatwan.net/politique/sommet-du-comesa-%C3%A0-nairobi-i-le-chef-de-l'E2%80%99etat-pour-%C2%ABune-souverainet%C3%A9-num%C3%A9rique%C2%BB-dans-la-r%C3%A9gion.html>

9 日 Al Watwan 紙によると、フランス開発庁 (AFD) は 7 日、モロニに新しい事務所を開設した。開所式典では、リアバストル・コモロ担当ディレクターが、1960 年代から始まったコモロとの協力の歴史を振り返りつつ、現在は 24 プロジェクト (総額 2 億 5800 万ユーロ) を展開していると説明。そのうち 1 億 5000 万ユーロは「フランス・コモロ開発プログラム (PDFC)」の枠組みによるもの。

<https://alwatwan.net/politique/coop%C3%A9ration-i-l'E2%80%99agence-fran%C3%A7aise->

[de-d%C3%A9veloppement-inaugure-son-si%C3%A8ge-%C3%A0-moroni.html](https://www.lagazettedescomores.com/soci%C3%A9t%C3%A9/sommet-russo-arabe-moscou-s%E2%80%99appr%C3%AAt%C3%A0-accueillir-le-monde-arabe-.html)

9日 La Gazette 紙によると、ロシアは9日から15日まで、ロシアとアラブ諸国による初の首脳会議を開催する。アザリ大統領も15日に参加する予定で、これを機にモスクワとの関係を強調し、ロシアのモロニにおける外交拠点設置構想も再び浮上している。会議では経済協力の拡大、特にエネルギー分野での連携が議題となり、ロシアが持つ技術や投資が、コモロの再生を後押しする可能性がある。

<https://www.lagazettedescomores.com/soci%C3%A9t%C3%A9/sommet-russo-arabe-moscou-s%E2%80%99appr%C3%AAt%C3%A0-accueillir-le-monde-arabe-.html>

14日 Al Watwan 紙によると、8日、モロニで中国・フランス両大使が会談し、コモロとの協力の展望を協議した。中コモロ関係の進展や三国間協力の可能性が議題となり、中国大使は両国首脳の指導下での成果と「コモロ新興計画 2030」への支援を強調。フランス大使は教育・司法・財政分野での関与を確認し、中国との連携強化による持続的発展への意欲を示した。

<https://alwatwan.net/politique/coop%C3%A9ration-trilat%C3%A9rale-i-rencontre-%C3%A0-moroni-entre-les-ambassadeurs-de-chine-et-de-france.html>

17日 La Gazette 紙によると、ワシントンで開催された国際通貨基金（IMF）と世界銀行の年次総会において、イブラヒム財務・予算・銀行部門大臣は、経済協力強化と新たな投資誘致を目的に複数の二国間会談を行った。同大臣は、政府高官を伴い、サウジ開発基金（FSD）やアラブ経済社会開発基金（FADES）の幹部らと会談した。会談では、進行中のプロジェクトのフォローアップに加え、インフラ、エネルギー、教育などコモロの優先分野におけるプロジェクト実施の加速が主要な議題となった。

<https://lagazettedescomores.com/economie/finances-publiques-la-d%C3%A9t%C3%A9gation-comorienne-%C3%A0-la-recherche-des-opportunit%C3%A9s-d%E2%80%99investissement-.html>

20日 Al Watwan 紙によると、大阪・関西万博 2025 でコモロ館を率いたモハメド・ウセイン氏は、参加が国際的知名度と経済外交の向上につながったと評価した。来場者は135万人を超え、観光・文化・経済の潜在力が注目を集めた。JETRO や JICA との協力も進み、バニラやイランイランといった特産品分野での投資機会が拡大。伝統遊戯「ムラハ」や大学間交流も話題となり、今後は日本との連携を深め持続可能な発展を目指す方針。

<https://alwatwan.net/culture/le-directeur-du-pavillon-des-comores-apr%C3%A8s-osaka-2025-i-%C2%ABl%E2%80%99exposition-a-g%C3%A9n%C3%A9r%C3%A9-un-r%C3%A9seau-d%E2%80%99opportunit%C3%A9s-%C3%A9conomiques-in%C3%A9dites-pour-notre-pays%C2%BB.html>

3 経済

1日 Al Watwan 紙によると、9月29日、世界銀行の資金援助（8億4,350万コモロ・フラン）により整備されたウジオ〜ウッサオ〜パンデ間の農村道路が開通。同道路は、農業生産地へのアクセス向上と食料安全保障の強化を目的とし、FSRP-KM（食料システム強靱化プロジェクト）の一環として建設されたもの。開通式には、議員や農民代表、関係者が出席し、本インフラの意義を強調したほか、輸送手段の整備や灌漑・保冷設備の必要性にも言及。政府は、今後、近代的農業機材の導入や生産者の組織化を進め、若者の農業参入を促す方針を示した。

<https://alwatwan.net/societe/d%C3%A9veloppement-rural-i-inauguration-de-la-piste-ouzio-oussao-pande.html>

23 日 La Gazette 紙によると、財務・予算・銀行部門大臣はワシントンでのミッションから帰国し、IMF 拡大信用プログラム第 5 回レビュー開始に向け大きな進展があったと報告した。2026 年予算案のマクロ経済枠組みも協議中という。さらに、世界銀行やアフリカ開発銀行などの国際機関と協議し、雇用創出、人材育成、民間セクター発展、インフラ整備といった優先課題への資金確保を目指した。加えて、イスラム開発銀行との間で公務員制度近代化のための 600 万ドル融資契約を締結したことが、今回の主要成果となった。

<https://lagazettedescomores.com/soci%C3%A9t%C3%A9/finances-publiques-des-agents-mieux-form%C3%A9s-pour-une-gestion-publique-efficiente-.html>

23 日 La Gazette 紙によると、財務・予算・銀行部門省職員を対象とした管理、税関、課税、公共財政に関する研修修了証の授与式が行われた。この研修は欧州連合とフランス開発庁が資金提供する財政ガバナンス支援プロジェクト（PAGF）の一環で、政府の財政行政改革の一環として実施された。これまでに 200 人の職員が複数のグループに分かれて研修を受け、公共資源のより厳格で透明な管理を目指している。

<https://lagazettedescomores.com/soci%C3%A9t%C3%A9/finances-publiques-des-agents-mieux-form%C3%A9s-pour-une-gestion-publique-efficiente-.html>

28 日 Al Watwan 紙によると、アザリ大統領は 27 日、モロニで「海上回廊整備・地域貿易円滑化プロジェクト」の始動を宣言した。総額 2 億 1800 万ユーロ規模の本事業は、アフリカ開発銀行など複数の国際機関が出資し、農水産物輸出の物流改善を通じて雇用創出や市場アクセス、食料安全保障の強化を目指すもの。大統領はこれを「国の経済・政治史における重要な一歩」と位置づけ、インド洋地域での地位向上、女性支援、気候変動対策の推進、さらにアフリカ連合の「アジェンダ 2063」と大陸自由貿易圏への貢献を強調した。

<https://alwatwan.net/economie/lancement-du-projet-de-corridor-maritime-i-le-chef-de-l%E2%80%99etat-a-donn%C3%A9-le-coup-d%E2%80%99envoi-au-palais-du-peuple.html>

29 日 Gazette 紙によると、政府は海上回廊整備・地域貿易促進プロジェクトを正式に始動した。国内港湾の強化により島間物流を円滑化し、輸送コスト削減と地域統合を進め、農漁業や貿易産業の活性化、若者や女性の雇用創出を図る。これは「コモロ新興計画」の一環で、経済の海洋化や地域競争力の向上、気候変動への強靱性を備えた発展を目指している。

<https://www.lagazettedescomores.com/soci%C3%A9t%C3%A9/projet-d%E2%80%99am%C3%A9nagement-du-corridor-maritime-azali-%C2%AB-nous-%C3%A9crivons-une-page-majeure-de-notre-histoire-%C3%A9conomique-%C2%BB-.html>

31 日 Al Watwan 紙によると、財務省と商業組合（Synaco）は、公共と民間の協働を強化する協定を締結した。本協定により、輸送費に対し 5 % の控除を関税計算に適用し、従来の引き上げ分を平均 22 % 削減、さらに生活必需品 24 品目の価格を 5 % 引き下げることが決定された。対象にはタイルや家具、冷蔵庫などが含まれ、今後さらに拡大予定。財務・予算・銀行部門大臣は「対話の成果」と述べ、商業活動の円滑化と国民の購買力維持を強調した。

<https://alwatwan.net/economie/partenariat-public-priv%C3%A9-i-signature-d%E2%80%99une-convention-entre-le-minist%C3%A8re-des-finances-et-les-op%C3%A9rateurs-%C3%A9conomiques.html>

4 社会

3 日 Al Watwan 紙によると、国営放送局 ORTC は、15 年間続けたカナル＋系 Thema との衛星放送契約を終了し、10 月 1 日から IPTV に完全移行した。ハブラ

ニ・アスマニ総局長は、契約終了は Thema 側の要請によるものと説明しつつ、若手技術者の尽力で円滑な移行が実現したと述べた。今回の移行は放送の独立性と映像主権の強化、経済的効率化、さらには地上デジタル放送拡大への布石とされる。

<https://alwatwan.net/societe/m%C3%A9dias-l%E2%80%99ortc-basculer-vers-l%E2%80%99iptv-et-tourner-la-page-du-satellite.html>

8 日 La Gazette 紙によると、アンジュアン島で 10 月 4 日から 8 日まで麻疹・風疹予防接種キャンペーンが実施中。RR ワクチンは両ウイルスから子どもを守る混合ワクチンで、通常は 12 か月と 16～18 か月で接種する。保健当局は、接種不足による集団免疫の低下が乳児や免疫抑制者を危険にさらすと警告。会場には多くの住民が訪れ、啓発車両も巡回している。

16 日 Al Watwan 紙によると、15 日、教育省とコモロ大学教職員組合（SNEUC）は、数週間続いたストを終結させる合意に署名した。合意には、給与支払いと学術運営の安定を確保する恒久的予算の創設、未承認教員の正式採用、2025 年末までの高等教育法第 50 条の 2 適用が含まれる。契約教員の審査委員会や履行監督委員会も設置され、行動計画を示すロードマップが策定される。

<https://alwatwan.net/education/universite%C3%A9-des-comores-i-un-protocole-d%E2%80%99accord-met-fin-d%C3%A9finitivement-%C3%A0-la-gr%C3%A8ve.html>

17 日 Al Watwan 紙によると、政府が 10 月 3 日から金曜礼拝を午後 1 時に統一する決定を下したことを受け、伝統と労働時間の調整を巡り議論が起きている。ムフティ団（イスラム法学者団）は、措置がシャリーア（イスラム法）に適合すると確認しつつ、信徒間の団結維持を強調。正午礼拝を行う地域における対立回避のため、統一時刻の再考を大統領に求める方針で一致した。

<https://alwatwan.net/societe/fixation-de-la-priere-du-vendredi-%C3%A0-13h-i-le-mouftorat-cherche-%C3%A0-apaiser-les-tensions.html>

31 日 Al Watwan 紙によると、2000 年に設立された伝統舞踊団体「マサンパンガ」は、コモロの文化遺産を守り伝えることを目的に活動している。国内外のフェスティバルで実績を重ね、アルジェリアや日本の万博でも公演した経験がある。約 100 名のメンバーが舞踊と教育支援に取り組み、踊りは祖先の物語や連帯、誇りを表現する「記憶の舞」とされる。資金や施設不足の課題があるものの、創立 25 周年を機に大型文化祭開催や国際ネットワーク参加を目指し、政府の文化支援強化を訴えている。

<https://alwatwan.net/culture/troupe-de-danses-traditionnelle-%C2%ABmasampanga%C2%BB-i-quand-la-m%C3%A9moire-se-met-%C3%A0-la-danse.html>

（了）